

# 社説

なる覺悟を以て此場合に處す可きや成は今度の電報は實際無根なるやも知る可らず我輩とても其眞實なるを保證する者に非ずと雖も世界の大勢に就して凡と此邊の成行は實際に疑ふ可らず否な膠州灣の占領事件は既に事の發端を認む可きものにして早晚のみの報道を事實に見る可きは明なるのみか文明諸強國の外交手段は甚だ迅速にして疾風迅雷耳を掩ふに遑あらずるの常なれば其敵候既に明白の今日に際しては最早や事實を見たるものとして之に對せざる可らず即ち全國一致の實を舉げ朝野是云ばず官民と云ばず國中最上の智力を集め迅速にして疾風迅雷耳を掩ふに遑あらずるの常なれば其敵候既に明白の今日に際しては最早や事實を見たるものとして之に對せざる可らず即ち全國一致の實を舉げ朝野是云ばず官民と云ばず國中最上の智力を集め其事に當るも尙ほ力の足らざるを恐るし目下大切の時節に現政府の當局者は果して最上の智力を集め得たるものなりやと云ふに通般政變の次第を見ても政府の内外共に基だ重きを置くもの少なきは實際の事實にして今日の大事に處しては何分にも不安心の情なきを得ず何人も認ひる所にゐそわれば政府は須らく速に在朝在野の老政客を會し一大會議を開はして目下の大事を議し其結果に由りて更らに政府を改造するなり又は大に當局者を更迭するなり遂に角に國中最上の智力を集めて事に當らしむるど肝要なり誠は元老合同は到底行ふ可らずとの異論もわらんかなれど是れは平日の場合のみ目前に親の大病を控へながら兄弟喧嘩の爲めに看病を怠るとば何事ぞや或は兄弟中には顛變りのものもあるん又は平生より氣の合はざるものもあらんなれども既に親の大病とれれば何は差置き其枕頭に集まつて看病は厭せざる可らず平生の不平不如意を繰返しなむして嘔々悲嘆を云ふ可き場合に非ざるなり今在野の元老と云へば蓋當初伊藤大権の二人なれども伊藤の如き此場合に慾々開臥して事を事とせず國事を視起と歸りて事に當るも到底永持す可さに非ず早晩政變到来して詰り自家の轍に廻るみとならんとて恰も冷笑しながら他の失敗を持つの下心もあらんかなれども今日の場合に斯る不親切の舉動は斷じて許す可らず又現政府の當局者も吾々とても日本の政治家なり自から所見を行ふに何ぞ他の容諛を容れんやとて立派に遣てたりと云ふも今時の時節は單に一身を顧うして傍観坐視の時に非ず或は在野の輩は今の當局者等が如何に躍起と鳴りて事に當るも到底永持す可さに非ず早晩政變到来して詰り自家の轍に廻るみとならんとて恰も冷笑しながら他の失敗を持つの下心もあらんかなれども今日の場合に斯る不親切の舉動は断じて許す可らず又現政府の當局者も吾々とても日本の政治家なり自から見せんどの決心ならん即ち昨今頗りに苦心して職務の操縦、人物の更迭等に畢生の智力を奮ひつゝある所以ならんなれども果して職務を操縦し人物を更迭したる處にて其結果は只内閣維持の目的を達するに過ぎず國家の大事には盡も關係あるみとなく無益の皆勞と云ふ可らのみ左れば目下の大事に際しては藩閥と云は少長齋と云はず老齋と云はず専ら云ばず國內外の統治は一切止めにし大に朝野の元老と會して遂に國議を決し國中最も上の智力を擧めて國事に當るの覺悟を定めざる事なし此輩の所見を以てすれば其覺悟を以てしても尙ほ力の足らざるを恐るるものなるに存朝在野の政黨大團一員の看護の爲めに意見と殊にし出所を殊にして國家の大事を坐視するとは何事ぞや我輩の傍観に場へずして置く事可らず所のものなり

# ○日本の運輸交通事業

我國の鐵道  
今茲に我國の現時開業鐵路と將來敷設せらる可き鐵路  
に就きて少しく述べんに即ち左に示めすとあらば、  
を除きて全國官私の既成未成及び豫定鐵路なり。此統  
計は十一月中の調査なると以て上來述べるところと數字  
の合はざる所ある可心又確以下の端數は總て省く一部  
分開業したるものは其確數多少の相違を免かれざる可  
し)

八百三十八哩、本  
千百五十四哩にし  
八千〇五十哩なり

免本職補吉野縣長  
免比部齋長  
免本職  
補平定局員  
免本軍令部第三局長心得  
免本總務大臣監督官員

免本職補候須賀水營官第  
免本職補佐世保水營副官  
免本職補領副制局  
補候須賀海兵團副兵  
免本職補候軍大學校教官  
免本職補候良弼制員  
補候須賀

○海軍佐官の昇  
佐及び相當官より  
官に昇進したるもの

松吉三高矢崎公森井重  
本松浦篠鳴木枝川上藤  
茂太重新散實海軍中佐  
即取第男功試一種坂本  
成出山川中瀬宮安風原  
坂本友敵村若崎誠

今井  
伊地知  
正利  
西京  
同坂  
手造  
萬葉  
今  
東  
神  
六  
那  
分  
本  
安  
田  
毛  
利  
一  
兵  
威  
正  
也  
三  
軍  
八  
尾  
花  
尾  
浦  
助

新井 昭吉  
山本 次郎  
水谷 信一  
伊東 喜久  
正岡 茂吉  
高橋 道宣  
下村 金作  
高橋 金作